RYOBI

取扱説明書

チェンソー

CS-3005
CS-3605

回 二重絶縁

このたびは、リョービチェンソーをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意……………… 1
二重絶縁について…………… 6
騒音について………………… 6
チェンソーを安全にお使いいただくために…………… 7

各部の名称…………………… 10
仕様…………………………… 10
付属品………………………… 11
別販売品……………………… 11
用途…………………………… 11

ご使用前の準備……………… 12
　作業場に関して
　漏電しゃ断器設置のおすすめ
　延長コードについて
ご使用前の点検……………… 13
　電源を確かめます
　スイッチ操作について
　ソーチェンの張り具合の確認
　チェンオイルの確認
　電源コンセントを確かめます
　オイルの吐出を確かめます

ソーチェンの調整…………… 15
スイッチの扱い方…………… 17
チェンオイルについて……… 17
切断作業……………………… 18
　切り方の基本・枝落とし
　枝払い作業・伐木作業

ソーチェーンの目立て……… 23
ソーチェンの交換…………… 24
各部取付けネジの点検……… 26
使用後の手入れ……………… 26
作業後の保管………………… 27
修理について………………… 27

6986793

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	感電注意	回転部注意	

⚠ 警　告

作業環境

必ず守る

作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

禁止

可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

禁止

使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項

必ず守る

感電注意

電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
・改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

必ず守る

パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。

・感電するおそれがあります。

感電注意

水ぬれ禁止

電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

・電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。

・感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

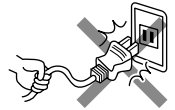
感電注意

安全上のご注意

⚠ 警　告

電気に関する安全事項

電源コードを乱暴に扱わないでください。

- 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
- 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。

屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。

- キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

作業者に関する安全事項

油断しないで十分注意して作業してください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

安全保護具を使用してください。

- 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。

不意な始動は避けてください。

- 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。

⚠ 警　告

作業者に関する安全事項

必ず守る

電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。

禁止

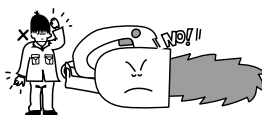
必ず守る

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

禁止

きちんとした服装で作業してください。

・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。

必ず守る

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用と手入れ

必ず守る

無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

禁止

・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

点検・確認

スイッチに異常がないか点検してください。

・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

電動工具の使用と手入れ

電源プラグを抜く

意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
・保管、または修理する場合
・その他危険が予想される場合

必ず守る

禁止

使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

・不慣れな方のご使用は危険です。

点検・確認

電動工具の保守点検をしてください。

・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

よく読む

・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

禁止

・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

必ず守る

・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

⚠警　告

電動工具の使用と手入れ	必ず守る	**先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。** ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
	必ず守る	**電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。** ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
		極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
整　備	分解禁止	**電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。** ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。 ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。
	必ず守る	・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる２つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

チェンソーを安全に

チェンソーご使用に際して

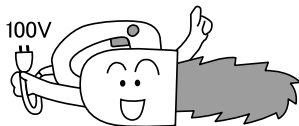
●先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、チェンソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告･注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

作業の前に

必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

必ず守る

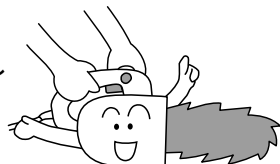
チェンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。

・感電のおそれがあります。

作業に関して

必ず守る

使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。

・本体がはね返り、けがの原因になります。

禁止

はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。

・けがの原因になります。

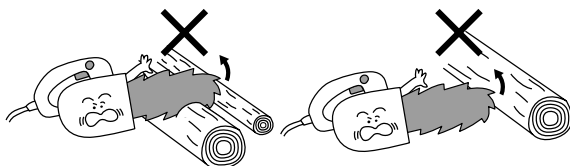
禁止

肩の高さより高い位置で使用しないでください。

・けがの原因になります。

禁止

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また､ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

・本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。

必ず守る

お使いいただくために

⚠ 警　告

作業に関して

必ず守る

使用中は、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。

回転部注意

必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

必ず守る

（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。
（関連法令：労働安全衛生法　第 59 条 3 項、安全衛生特別教育規程　第 10 の 2、労働安全衛生規則　第 36 条 8 号の 2）

⚠ 注　意

安全作業のために

よく読む

工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

電源プラグを抜く

ソーチェンなどでコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

感電注意

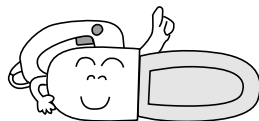
・感電のおそれがあります。

チェンソーを安全にお使いいただくために

⚠ 注　意

安全作業のために

使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、子どもの手の届かない所に保管してください。

・けがの原因になります。

点検・確認

スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

・本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

点検・確認

材料に石、釘などの異物が入っていないことを確認してください。

・ソーチェンが石などに当たると、けがの原因になります。

切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。

・けがの原因になります。

必ず守る

切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

・ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

禁止

本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。

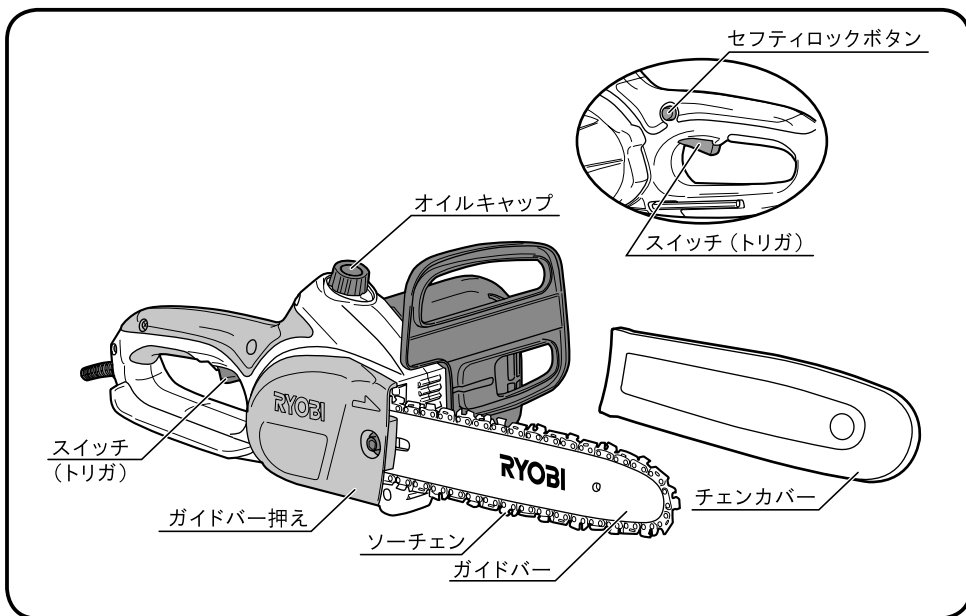
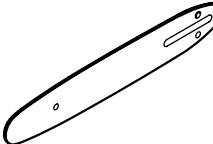
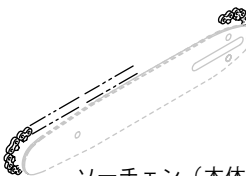
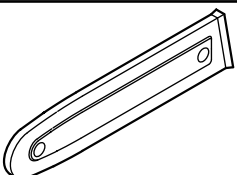
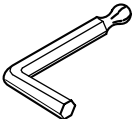
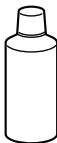
・けがの原因になります。

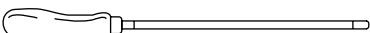
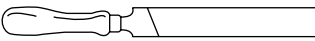
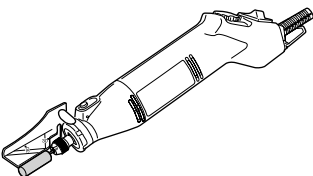
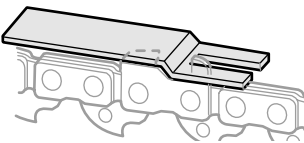
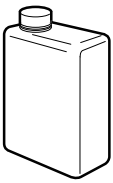
必ず守る

作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。

・けがの原因になります。

主要機能・名称

■各部の名称

■仕様

モデル	CS-3005	CS-3605
電　源	単相・交流　100V 50/60Hz	
定格電流	8.5 A	
消費電力	800 W	
チェンスピード	8.0 m/s	
有効切断長さ	300 mm	360 mm
ソーチェン	90PX-45（ピッチ 3/8”）	90PX-52（ピッチ 3/8”）
本体寸法（長さ）	643 mm	703 mm
コード長さ	2 m	
質　量	2.2 kg	2.3 kg
絶縁方式	二重絶縁	
振動 3 軸合成値※ EN60745-2-13 に基づき測定	2.8 m/s^2	2.7 m/s^2

※『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しております。ので ご参照ください。
http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html

付属品・別販売品・用途

■付属品

■別販売品

■用途

・木材の切断、丸太の切断、枝打ち

準　備

■ご使用前の準備

●作業場に関して

・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて

⚠警　告

必ず守る

・延長コードは損傷のないものを用意してください。

・電源の位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。
右表は、使用できるコード太さ（導体公称断面積）とその最大長さです。

導体公称断面積	使用できる最大長さ
1.25mm^2	15m
2.0mm^2	30m

準　備

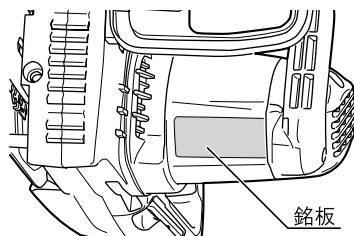
■ご使用前の点検

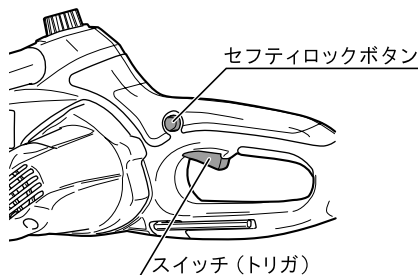
⚠ 警　告

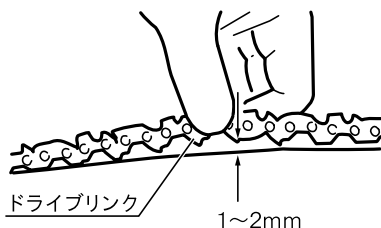
点検・確認

・ご使用前に次のことを確認してください。
❶〜❹項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
・電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

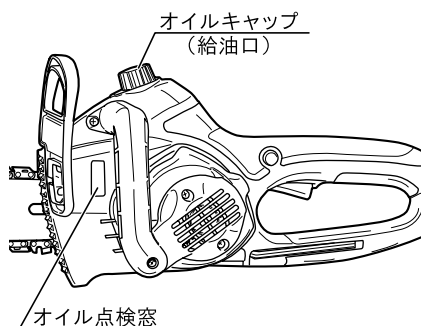
❶電源を確かめます

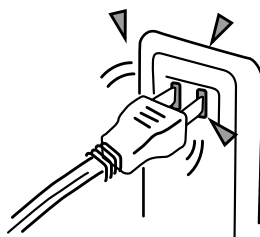
・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。

❷スイッチ操作について

・スイッチは、セフティロックボタンを押えた状態でトリガを引くと入ります。トリガを放すと切れます。トリガを放したとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。

❸ソーチェンの張り具合の確認

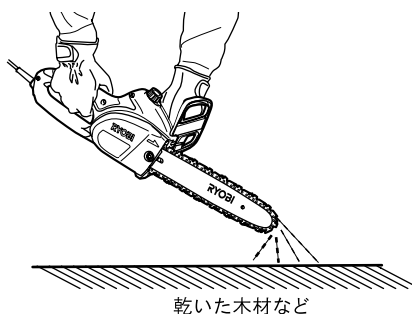
・ソーチェンが適切に張られていないと、ソーチェンやガイドバーを傷め、故障の原因になります。確認方法はガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライブリンクの底がガイドバーから1〜2mm離れる程度が最適です。調整が必要な場合は、『ソーチェンの調整（P 15）』の要領で行なってください。

❹チェンオイルの確認

・本機はオイルタンクにオイルを入れないで出荷しています。ご使用前に必ず、オイルキャップを外し、オイルタンクに付属品のチェンオイルを入れてください。
・オイル点検窓にてオイルタンク内のチェンオイル量の確認をしてください。チェンオイルの補充は、給油口のオイルキャップを外して行なってください。

チェンオイルはリョービ純正のチェンオイルまたは市販のチェンオイル、エンジンオイル(夏場:SAE30、冬場:SAE10)でゴミなど異物が混入していないものをご使用ください。オイルの種類によっては、プラスチック製の本機枠に悪影響をおよぼすことがあります。必ず、指定のオイルをご使用ください。

❺電源コンセントを確かめます

・電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。

❻オイルの吐出を確かめます

・スイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的にチェンオイルが給油されます。
2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。
(確認方法:P25『ソーチェンの取外し』参照)

乾いた木材など

使い方

■ソーチェンの調整

⚠ 警　告

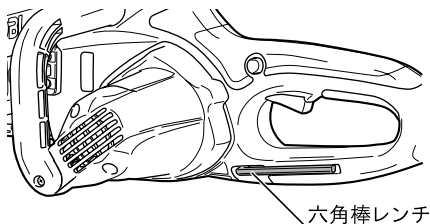
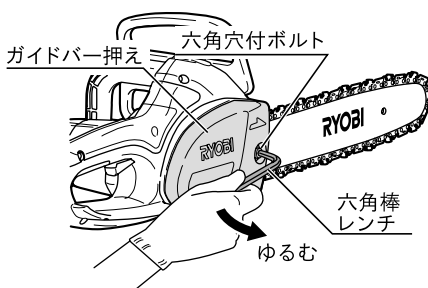
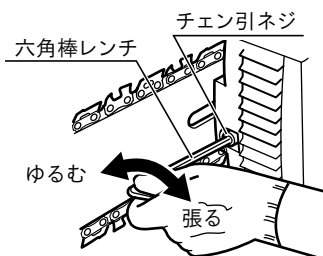
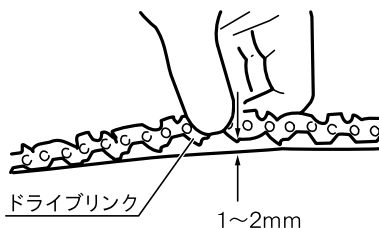
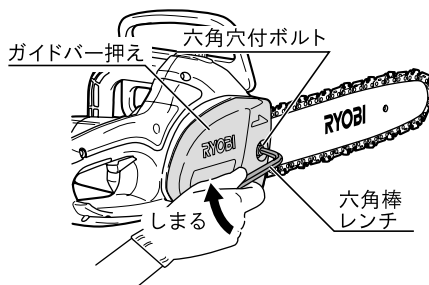
電源プラグを抜く

・ソーチェンの調整のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注　意

必ず守る

・ソーチェンの調整のときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

1. 本体より六角棒レンチを取出します。

2. 六角棒レンチで、ガイドバー押えを締付けている六角穴付ボルトを少しゆるめます。

3. 六角棒レンチでチェン引ネジを回し、ソーチェンの張りを調整します。
   チェン引ネジを右へ回すとソーチェンは張り、左に回すとゆるみます。

4. ソーチェンの張りはガイドバーの中ほどでソーチェンを軽く指で引上げ（本体が浮かない程度）、ドライブリンクの底がガイドバーから１～２mm 離れる程度に調整してください。

5. 調整後はガイドバーを上側に持上げながら、六角棒レンチで六角穴付ボルトを強く締付けてガイドバー押えを固定します。
※締付トルク 7.8 ～ 9.8N･m

6. チェン引ネジを軽く締めてください。
※締付トルク 1.0 ～ 1.5N･m
再度、４の手順でソーチェンの張りが適正であることを確認してください。ソーチェンの張りが適正でない場合は、２からの手順で再度張り調整を行なってください。

7. 調整終了後は、六角棒レンチを本体に収納してください。

必ず守る

・ソーチェンの調整は、ソーチェンが張る方向（右）にチェン引ネジを回して行なってください。張り過ぎたときも、一度ソーチェンをゆるめてから再度ソーチェンの張り方向で調整してください。

・新品時のソーチェンは多少の伸びがありますので、少し使用ののち、点検をしてください。必ず電源コンセントから電源プラグを抜いて調整を行なってください。再調整の必要がある場合は､前述１～７の要領でソーチェンの張りを調整します。

使い方

■スイッチの扱い方

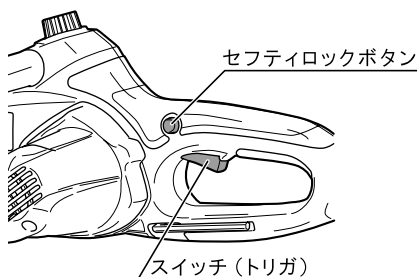
警　告

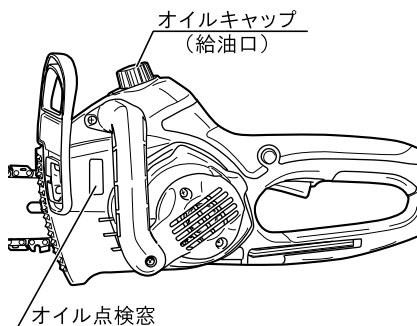
必ず守る

・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。誤ってスイッチを引いたとき不意に動き出し、けがの原因になります。

必ず守る

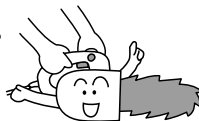
・両手でハンドルを保持してからスイッチを入れてください。

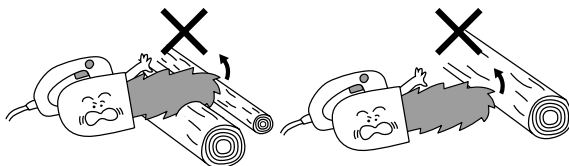
・本機はセフティ機構を採用しています。
セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
・スイッチは、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引くと入ります。
トリガから指を放すと切れます。

■チェンオイルについて

・チェンオイルはスイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的に給油されます。
・オイル点検窓にてオイルタンク内のチェンオイル量の確認をしてください。
・チェンオイルの補充は、給油口のオイルキャップを取外して行ないます。
容量は約 80mℓ です。
チェンオイルはリョービ純正のチェンオイルまたは市販のチェンオイル、エンジンオイル (夏場：SAE30、冬場：SAE10) でゴミなど異物が混入していないものを使用してください。

■切断作業

⚠警　告

必ず守る

・使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。
本体がはね返り、けがの原因となります。

禁止

・ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。

必ず守る

必ず守る

・使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

回転部注意

⚠注　意

点検・確認

・スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

必ず守る

・切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。

必ず守る

・切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ガイドバーがはさみつけられるとけがの原因になります。

使い方

注　意

回転部注意

・使用中、ソーチェンが別の材料や他のものに触れないように注意してください。とくに、切り終わりのとき、地面に接触しないように注意してください。

電源プラグを抜く

・使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

感電注意

感電の原因になります。

必ず守る

・チェンオイルが飛散しますので、作業に適した服装を着用してください。

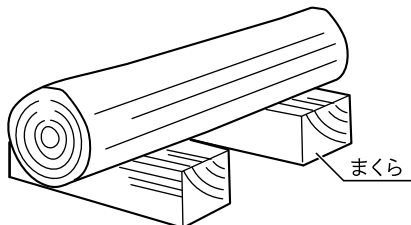
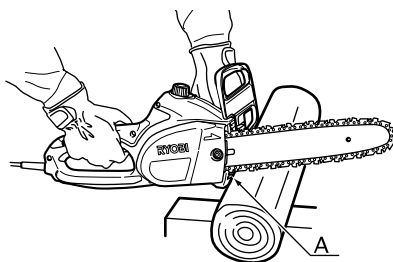
・無理に押しつけたり、切断中にこじたりしますと機械各部の故障の原因になります。無理なく、まっすぐに切断してください。

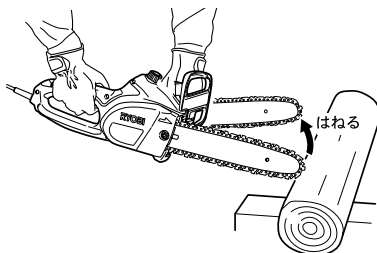
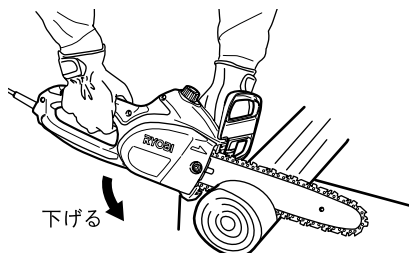
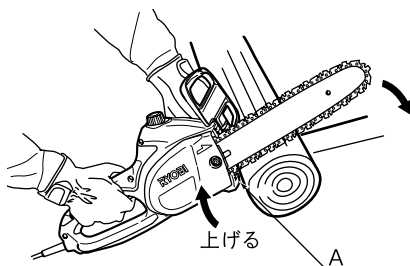
●切り方の基本

・正しい使い方をマスターしてください。１〜２本切ると上手に出来ます。
・切断を行なう前にソーチェンの張り具合および、チェンオイルが出ているか確認してください。

1. 切断材の下にまくらを敷き、地面から出来るだけ離して固定してください。

必ず守る

地面に近すぎますと、切断後地面にソーチェンが当たり、ソーチェンを傷付けたり、小石などをはね上げるだけでなく、チェンソー本体がはね返ることもあり危険です。

2. スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、ガイドバーのつけ根付近（右図A部分）を切断材に静かに当ててください。

必ず守る

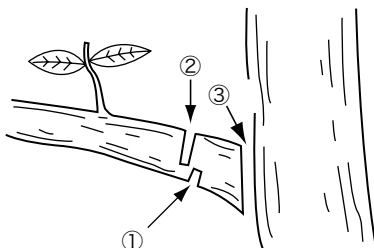
先端切りは、はね上がり、安定した作業ができませんので危険です。必ずつけ根の部分で切断してください。

3. 大きい材料の場合は、ガイドバーのつけ根付近（右図A部分）を支点にテコ運動をしながら切断してください。

使い方

●枝落とし

⚠ 注　意

・落ちてくる枝から、安全に避難できるように注意してください。
小枝を切るときは、本体がはね返ることがありますので注意してください。

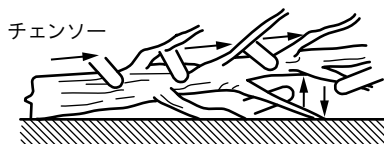
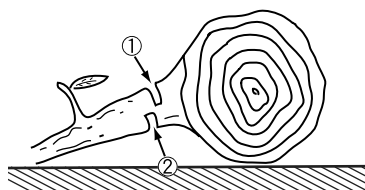
1. 太い枝は、まずつけ根から少し離れたところを切り落とします。
①下側から３分の１くらい切込み、②上側から切り落とします。

2. 最後に残りの部分を③つけ根から切落としてください。

●枝払い作業

⚠ 注　意

・地面に当たっている枝は、丸太の重量を受けているので切るときにガイドバーを挟まないように注意してください。また、切り終わりに丸太がころがることがあるので注意してください。

1. 上部、側面の枝を一方向より切落とします。

2. 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切落とします。

3. 地面に接触している太い枝は、①上側から半分くらい切込み、、②下側から切込み、枝を落とします。

●伐木作業（樹木を伐り倒す作業）

⚠ 警　告

点検・確認

・伐木作業を行なうときは、木の倒れる方向に人や物がないことを確認してから作業を行なってください。

必ず守る

・伐木作業を行なうときは、必ず二人以上で作業を行なってください。

必ず守る

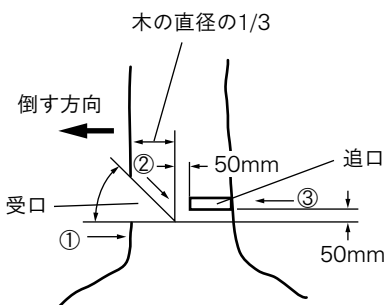
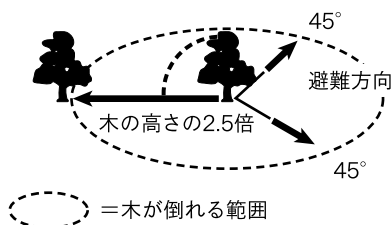
（事業者の方へ）
樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。
（関連法令：労働安全衛生法　第59条3項、安全衛生特別教育規程第10の2、労働安全衛生規則　第36条8号の2）

1. 伐り倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し、倒す方向、避難する方向を決めます。

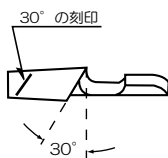
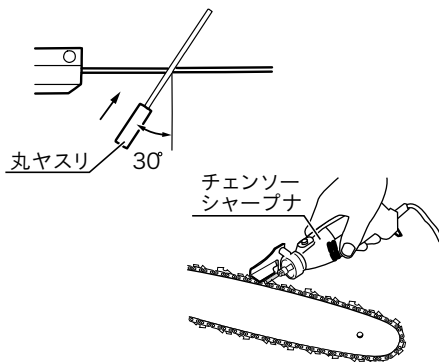
2. 伐り倒す木の周囲の障害物を取除き、足場の安全を確認します。伐り倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
3. 図に示すように伐り倒す方向に直径の1/3程度の切込みを①、②の順に入れて受口を作ってください。
4. 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口③を切込んでください。
5. 追口の切込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切口よりチェンソーを離し、その場にチェンソーを置いて避難してください。

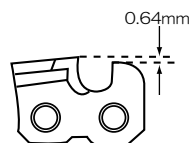
6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合やソーチェン、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正し、挟まれたソーチェン、ガイドバーを取除いてください。

保守と点検

⚠ 警　告

・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因に

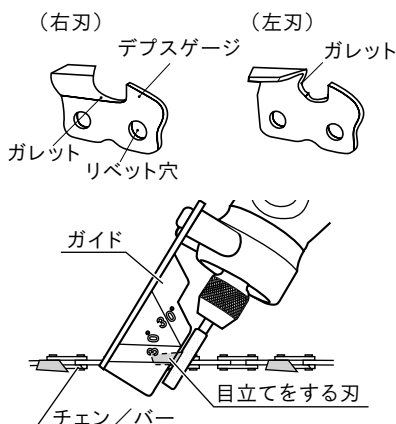
■ソーチェンの目立て

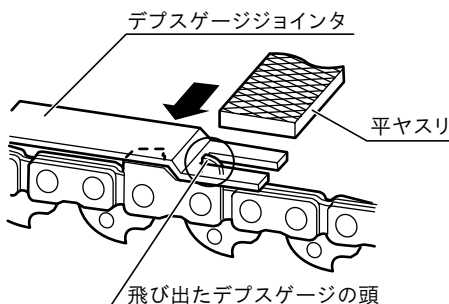
・目立ては自分でできます。
別販売品の丸ヤスリ（４mm）またはチェンソーシャープナで左刃・右刃の角度に注意し、目立てをしてください。（右図）
仕上げ角度は、下図のようになるのが理想的です。
30゜の刻印を目安に目立てを行なってください。

上刃目立て角度

上刃切削角度

デプスゲージセッティング

（チェンソーシャープナ使用方法）

・目立てをするソーチェンの種類、条件を確認してください。
1. 軸付砥石を刃先のガレット部にはめこみます。
2. ガイドを目立てをする刃の上にのせ、ガイドに印された上刃目立て角度（30゜）をチェンソーのガイドバーと平行になるように位置合わせをします。

※ 詳しい使い方はチェンソーシャープナの取扱説明書をお読みください。

（デプスゲージジョインタ）

・デプスゲージジョインタをソーチェンの上にかぶせます。デプスゲージが高すぎる場合には溝からデプスゲージの頭が出ます。溝から出ている部分を平ヤスリで削り落とし、適切なデプスゲージ高さに調整します。

■ソーチェンの交換

⚠ 警　告

電源プラグを抜く

・ソーチェンの交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

よく読む

・ソーチェンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

必ず守る

・ソーチェンは仕様に明記してある正しいタイプのものを使用してください。誤ったタイプを取付けるとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

⚠ 注　意

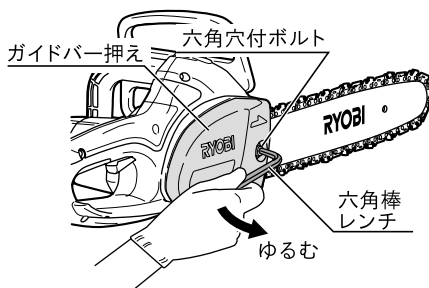
必ず守る

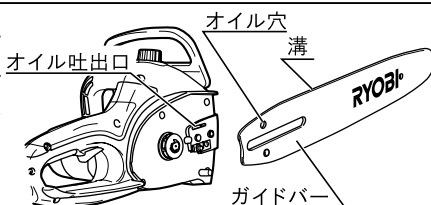
・ソーチェンの交換のときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

保守と点検

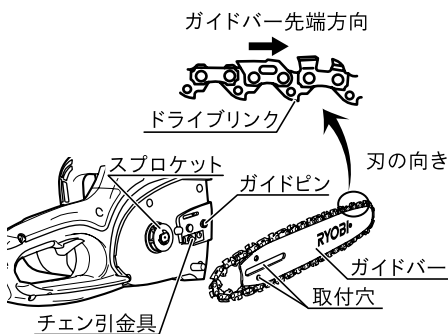
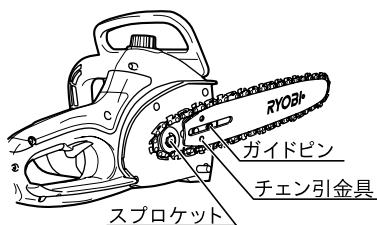
●ソーチェンの取外し

1. 本体より六角棒レンチを取外します。

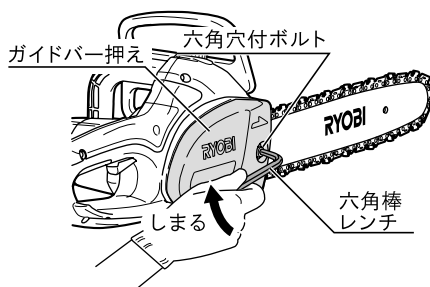
2. 六角棒レンチで六角穴付ボルトをゆるめ、ガイドバー押えを取外しますと、ガイドバー、ソーチェンは簡単に外せます。

必ず守る

ソーチェンの取外しの際には、オイル吐出口、オイル穴、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を取除いてください。切粉などがたまっていますと故障の原因になります。

●ソーチェンの取付け

1. ガイドバーの溝にソーチェンのドライブリンクをはめてセットした後、スプロケットにドライブリンクをはめてください。

・ソーチェンの刃の向きに注意してください。

2. ガイドバーの取付穴にガイドピン、チェン引金具をはめ込んでください。

3. ガイドバーを押えた状態でガイドバー押えをはめ、六角穴付ボルトを軽く締付けてください。

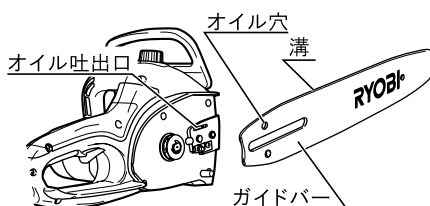
4. P15『ソーチェンの調整』3～6の要領でソーチェンの張りを調整します。

5. 作業終了後は、六角棒レンチを本体に収納してください。

■各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

●ガイドバーの清掃

・ガイドバーの溝やオイルの出る穴に切粉などがつまると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。使用後およびソーチェンの交換時などにはガイドバーを外し、溝などに入った切粉を取除いてください。

●ソーチェンの給油

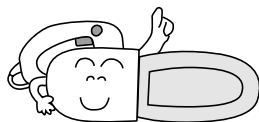
・使用後はサビ止めのため、ソーチェンを回転させ、油を十分まわしておいてください。

●表面の汚れの清掃

・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

保守と点検

■作業後の保管

- 作業後は、ソーチェンがむき出しにならないようにチェンカバーを取付けてください。
- 使用後に機械ガイドバー部やオイルポンプのチューブ内のチェンオイルが流れ落ちることがあります。ビニールを敷くなどして周囲を汚さないように注意してください。
- オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、オイルキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。横にして保管した場合、オイルが漏れます。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

■修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
  その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

本　社　〒468-8512 愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141
http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/